

横浜市長
山中 竹春殿

陳情書

『新たな球技場』を三ツ沢公園内に建設する案について

三ツ沢公園の自然と緑を守る会

令和5年12月11日

団体名：三ツ沢公園の自然と緑を守る会

【代表者（共同代表）】

井上明美

島崎文彦

馬場英明

【連絡先】

ファックス：050-3588-4036

メール：mirai.3sawa.park@gmail.com

【署名呼びかけ人】

井上明美（保土ヶ谷区在住）

金馬国晴（横浜国立大学教育学部教授）

島崎文彦（会社役員・神奈川区在住）

中込晴夫（保土ヶ谷区常盤台中部自治会副会長・横浜市環境事業推進委員）

本田正男（弁護士・神奈川区在住）

山崎圭一（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）

【三ツ沢公園の自然と緑を守る会メンバー*と支援者】

（神奈川区三ツ沢西町）

（神奈川区三ツ沢西町）

（神奈川区三ツ沢南町、

（神奈川区三ツ沢南町）

（神奈川区三ツ沢東町）

（神奈川区三ツ沢東町）

（神奈川区三ツ沢東町）

（神奈川区三ツ沢下町）

（神奈川区三ツ沢下町）

（神奈川区三ツ沢上町）

（神奈川区三ツ沢上町）

（神奈川区松が丘、

（神奈川区菅田町）

（保土ヶ谷区峰沢町）

（保土ヶ谷区峰沢町）

（保土ヶ谷区峰沢町）

（保土ヶ谷区峰沢町）

（保土ヶ谷区常盤台）

（保土ヶ谷区常盤台）

（保土ヶ谷区釜台町）

（保土ヶ谷区鎌谷町）

（西区浜松町）

（西区北軽井沢）

（西区北軽井沢）

陳情内容 (1/2)

横浜市のホームページに記載のあるように、受付日の翌日から起算して10開庁日目（12月25日）までに回答を頂けますようお願いいたします。なお、回答は取りにまいりませんので、ご一報ください。

1. 私たち「三ツ沢公園の自然と緑を守る会」並びに署名人は、横浜市（環境創造局公園緑地整備課）が計画をしている「三ツ沢公園再整備基本構想（案）」に含まれる『新たな球技場』の建設について、反対し、撤回を求めます。

同エリアは横浜市の風致地区であり、横浜市のホームページにも「三ツ沢公園を主体に良好な住宅地を取り入れた区域」と指定されているにも関わらず、緑豊かな住民の憩いの場である公園の中に、「2つ目」の巨大な鉄筋コンクリート作りの構造物を造ることは断じて認められません。

2. 『新たな球技場』建設案について、地域住民の生の声を行政側に届けるため、「地域住民への説明会」並びに「公開討論会」の実施（同日開催）を求めます。なお、同案への反対の立場からは、「三ツ沢公園の自然と緑を守る会」の代表者等複数名が、公開討論会における発言権を有することを求めます。要求期日：令和6（2024）年3月。

さらに、公開討論会の主題は「三ツ沢公園の再整備」全体に関することではないため、「『新たな球技場』を三ツ沢公園内に建設する案について」とすることを求めます。

3. 「三ツ沢公園の再整備」において、地域住民の声を反映させるため、官民一体の「三ツ沢公園の再整備協議会」を設けることを求めます。なお、「三ツ沢公園の自然と緑を守る会」もその協議会のメンバーとしての参加を求めます。

4. 『新たな球技場』建設案の内容に対する私たちの要求を整理します。個々への回答を求めます。

（1）横浜市（環境創造局公園緑地整備課）では、令和4年8月9日付「横浜市記者発表資料」で、「三ツ沢公園の再整備」の必要性として、同公園内にある「三ツ沢公園球技場（ニッパツ三ツ沢球技場）」の①老朽化、②不十分なバリアフリー、③観客席に屋根がないことを課題として提起しています。しかし、その課題を解決するための修繕事業計画が、横浜市が委託した「三ツ沢公園再整備計画検討業務委託」（株式会社戸田芳樹風景計画、令和5年3月）並びに「三ツ沢公園再整備計画検討業務委託（その2）」（令和5年6月）には見当たりません。

このことは元々の課題を放置したまま『新たな球技場』建設の検討を行っており、計画自体が不完全、不十分であると考えます。「三ツ沢公園球技場（ニッパツ三ツ沢球技場）」の修繕事業計画の提示を求めます。

陳情内容 (2/2)

(2) 私たちは『新たな球技場』を横浜市が建設すること自体に反対するものではありません。横浜市には三ツ沢公園の他に、自然環境を大規模に破壊する必要のない候補地がいくつもあると考えます。どのような経緯で、三ツ沢公園内に『新たな球技場』を造る案に至ったのか、その「必然性」についての検討資料の提示を求めます。

また、未検討である場合には、部局という行政上の枠を超えて横浜市全体を俯瞰・検討し、しかる後に、三ツ沢公園以外の場所に『新たな球技場』を建設する計画を立てることを求めます。

(3) 公園の管理者である横浜市が老朽化に伴う三ツ沢公園の再整備を行うことは当然のことと思います。しかし『新たな球技場』建設は老朽化に伴う「再整備」の域を超えるもので、その建設費は約100億円(目安)、大きさは1.5万から2.5万人規模と市の担当者も話しています。予算的な裏付けもないまま、また「再整備」の名のもとに『新たな球技場』建設の計画を進めていることは、横浜市民に対して十分な説明を行っていないことになるものと考えます。

三ツ沢公園内に『新たな球技場』を建設する計画について詳細な検討(少なくとも上記(1)に挙げた「業務委託」と同等のレベル)は行ったのか。検討したのであれば、検討資料の提示を求めます。

(4) 令和4年6月1日付市会「温暖化対策・環境創造・資源循環委員会」資料において、主な検討課題の一番初めに「①厳しい財政状況の中、効率的・効果的な球技場の整備や運営、市民サービスの充実に向けて公民連携の取組を最大限に推進」とあり、また「民間事業者の資金の活用」という文言があることから、横浜市だけではこの計画が難しいことを意味しているものと考えます。

民間事業者の資金活用があるにせよ、私たちは三ツ沢公園内に『新たな球技場』を建設すること自体に反対です。建設費の裏付けのないまま『新たな球技場』建設を推進することに反対するとともに、維持管理費についても、横浜市民に永続的な負担を課す可能性のある計画については、断固反対します。

つきましては、①十分な「民間事業者の資金」が得られない場合の横浜市の建設費の裏付けの提示、②維持管理費の試算(横浜市内にある複数の球技場の維持管理費情報に基づく)の提示を求めます。

私たちの市長陳情に賛同していただいた皆さんの署名（令和5年12月10日現在の一次集計）を添付します。

署名総数 4,241筆

[内訳]	署名用紙	842枚	3,470筆
	オンライン署名	12枚	771筆

【別紙1 三ツ沢公園の自然と緑を守る会の主張_目次】

私たちの主張

厳格な環境制約の枠内での開発を 山崎圭一 横浜国立大学教授

【別紙2 市民からの市長への手紙_目次】

- 1) うたつぐみさん 50代女性
写真：三ツ沢公園の野鳥
- 2) 「僕の木はどうなってしまうの？」 70歳
- 3) ████████さん 小学校6年生
- 4) 中学2年生
- 5) 9歳
- 6) ████████████████████ (2歳) 親子
- 7) 「やかつはたのしいよ」
- 8) ██████████ 小学校1年生
- 9) 60代主婦
- 10) ██████████
- 11) 70代自営業
- 12) 20代学生
- 13) ██████████ (13歳)
- 14) T.Oさん
- 15) 「公園風景」

以上